

開催報告



大会前日 10月5日(金)

JGN事前相談会【中央公民館】

世界ジオパーク推薦希望に5地域（7人）、日本ジオパーク認定希望に8地域（20人）が参加した。JGN事務局の進行のもと、現地審査員経験者等のオブザーバーを交え、世界ジオパーク推薦希望地域に対してはユネスコ世界ジオパークカウンスル委員の渡辺氏、日本ジオパーク申請希望地域に対しては日本ジオパーク委員会の中田委員長が説明を行った。机上説明、質疑応答の後、1階ロビーに移動し、日本ジオパーク申請希望地域のポスター発表と質疑応答を行った。



JGN運営会議【東様似生活館】

本大会の趣旨のひとつとしてジオパーク活動の原点回帰をあげているが、全体の共有事項として運営会議の本来のありかた、どうあるべきかが議論された。活発な議論の後、実際にどうやってジオパークの活動を発展させていくかという現場レベルで討論することが運営会議の本義であり、様々な得意分野を持つ専門員や現場で活躍している人たちの場である、とまとめられた。その他に保全窓口の設置について、JGNのコンプライアンスについても協議された。

総参加者数は95名であった。



懇親会【東様似生活館】

10月5日の諸会議等に参加された方で、懇談会を開催した。

時間が限られたなかであったが、ジオパークの仲間同士で交流していた。

総参加者数は103名であった。



大会1日目 10月6日(土)

開会セレモニー【中央公民館】

■ オープニングアトラクション

アイヌ古式舞踊

： 様似民族文化保存会



■ 主催者・共催者あいさつ



実行委員会実行委員長
(様似町長)
坂下 一幸



日本ジオパーク委員会委員長
(東京大学名誉教授)
中田 節也

日本ジオパークネットワーク理事長
(糸魚川市長)
米田 徹



■ 歓迎あいさつ

北海道副知事 阿部 啓二 様



■ 来賓紹介・あいさつ

「ジオパークによる地域活性化推進議員連盟」幹事
(参議院議員)
長谷川 岳 様

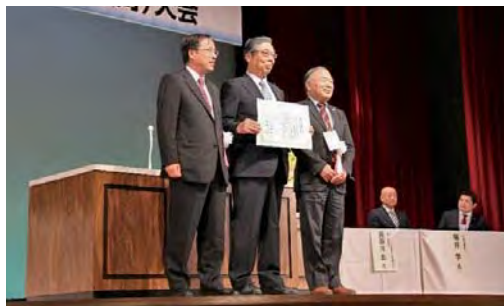


衆議院議員
堀井 学 様



■ JGN認定証授与

島根半島・宍道湖中海ジオパーク



萩ジオパーク



■ JGN表彰

表彰状授与 ～ 久保 雄 様

久保 雄様は、平成7年にフォッサマグナミュージアム友の会を結成し、現在に至るまで会長として、糸魚川ジオパークの拠点施設であるフォッサマグナ・ミュージアムの活動を支援しています。

また、自ら糸魚川ジオパーク認定ガイドとして精力的に活動を行うとともに、糸魚川ジオパーク協議会、糸魚川ジオパーク推進市民の会、糸魚川ジオパーク観光ガイドなど、関係団体の役員を務めてきました。

これら20年以上の長きにわたる活動は、日本ジオパークネットワーク加盟各地の規範となるものであり、ジオパークの普及発展への多大な貢献ををたたえ今回の受賞となりました。



感謝状(特別功労賞)授与 ～ 北海道地図株式会社 様



北海道地図株式会社様は、日本ジオパークネットワーク設立当初から連携いただき、ジオパークカレンダーの無償提供やワンダーランド展の実施無償協力、各種イベントへの参加及びコンテンツの製作や無償提供など、多種多様な活動支援を推進されました。

これらの活動は、日本におけるジオパーク活動や日本ジオパークネットワークの礎となるものであり、その功績をたたえ今回特別功労賞として感謝状を授与するものです。

■ 基調講演【中央公民館】

「ジオパークの魂～世界ジオパークネットワークの活動～」

世界ジオパークネットワーク協会会長、ギリシャ・エーゲ大学教授 ニコラス・ゾウロス 氏



中高大生ポスターセッション【第2体育館】

本大会においても、前回大会同様、明日のジオパーク活動を担う中学生～大学生のポスターセッションを設定し募集を行った。しかし、大学生の応募がなかった半面、小学生からの応募があったため、事情を説明し、中学生の部で審査を行った。

なお、審査対象はコアタイムのみとし、次の観点で審査を行った。

- ・ジオパークや地域振興に有益な視点があるか
- ・ジオパークの視点からみて、評価できるか
- ・学生の活動として、将来性や経験の蓄積に寄与するか
- ・工夫や努力が見られるか

参加校及び優秀賞受賞校は、以下のとおりである。



参加校

地域	発表者	標題	学校名
アポイ岳ジオパーク	石田佑、桐山依歩樹、富菜海衣、堀川蓮太、三上慎矢、安田優	花の名は。	浦河高校
十勝岳ジオパーク構想	八木橋佑樹、菅原隆雅、河口仁美	ボランティア登山の取り組みについて	上富良野高校
佐渡ジオパーク	相田嵩大、杉本和優、竹中姫鞠、服部瞳月	佐渡ときめき物語 Part 2	新穂小学校
アポイ岳ジオパーク	石田佑、桐山依歩樹、富菜海衣、堀川蓮太、三上慎矢、安田優	アポイ岳の植生について	浦河高校
アポイ岳ジオパーク	岡本美羽、金子里桜、小西流真、坂本麻耶、附田颯汰、三上唯憂香	アポイ米との出会いはいちご一会	様似中学校
アポイ岳ジオパーク	伊藤仁栄、竹内天太、野沢涼太、福村周矢、港康輝	様似と三笠の開拓史	様似中学校
アポイ岳ジオパーク	荒谷美珀、小野龍平、佐藤皓都、辻絢香、中村美友	多種多様な動植物について	様似中学校
Mine秋吉台ジオパーク	大田乃依、小林由布奈、佐藤日美	Mine秋吉台ジオパークの「黒」の歴史～無煙炭とともに生きる～	豊田前中学校
十勝岳ジオパーク構想	戸田もなみ、小玉瞳、山本爽羽	「泥流地帯」(作：三浦綾子)の映画化をすすめる取り組みについて	上富良野高校



優秀賞受賞

部 門	テ ー マ	発表者所属団体
中学校の部	アポイ米との出会いはいちご一会	様似中学校
	Mine秋吉台ジオパークの「黒」の歴史～無煙炭とともに生きる～	豊田前中学校
高校生の部	ボランティア登山の取組みについて	上富良野高校
特別奨励賞	佐渡ときめき物語 Part 2	新穂小学校

一般ポスターセッション【第2体育館】

一般ポスターセッションには49の申込みがあり、コアタイムを中心に、活発な発表が行われていた。



地域	発表者	標題
下北ジオパーク	石川智、小池拓矢	地域産品の認定制度の取り組みと効果
Mine秋吉台ジオパーク	倉増裕	Mine秋吉台ジオパークを「テーマパーク」に！
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク	町澄秋	学校教育現場でシリーズとしてのジオパーク学習を行うには：恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの例
十勝岳ジオパーク構想	藤原悟、佐藤雅喜、齊藤文朗、林崎涼、田中誠也	十勝岳ジオパーク構想の教育連携
箱根ジオパーク	一寸木肇	次世代にジオパーク活動をつなげる～箱根ジオパーク教育部会の活動から～
萩ジオパーク	伊藤靖子、中村浩二、白井孝明、肌野美怜、斉藤みよ子	山陰海岸ジオパークとの交流で気付いたこと～ジオパークの楽しみ方～
筑波山地域ジオパーク	柴原利継	筑波山地域ジオパーク ジオブランド認定商品が誕生！
箱根ジオパーク	村山一郎、片野忍、奥津悠介	第11回日本ジオパークネットワーク全国研修会について
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク	森石慶裕	ジオの恵み「雪」を活用しての各種取り組み
那須烏山ジオパーク構想	澤村俊夫、吉澤時明、菅谷しのぶ、河野重範	那須烏山ジオパーク構想におけるジオガイドの活動
八峰白神ジオパーク	日沼久人	絵画で表現されたジオサイト～絵画展を通じた地域住民のジオパーク活動への普及活動の一例～
室戸ジオパーク	中村有吾、高橋唯、小笠原翼、ミンダ・デットマン、吉本昌弘、川越桂太、山崎桂、和田庫治	JGN再審査と室戸ユネスコ世界ジオパーク
大雪山カムイミントラジジオパーク構想	川辺英行	上川中部地域におけるジオツアーの開催事例について
伊豆大島ジオパーク	橋本樹里、岩崎悠希、白井里佳	伊豆大島ジオパークの魅力を将来にわたって受け継いでいくために ー伊豆大島ジオパーク保全活用計画の策定ー
四国西予ジオパーク	榊山匠、宇都宮弘志郎	平成30年7月豪雨災害による四国西予ジオパークの被害状況について

地域	発表者	標題
苗場山麓ジオパーク	大塚与四次、広瀬幸利	ガイドによるジオサイト巡りの案内事例
ジオパーク秩父	吉田健一、宮前拓朗	ジオパークになって7年「ジオパーク秩父の広がり」
那須烏山ジオパーク構想	中山雅彦	栃木県那須烏山市の小学校におけるジオサイトとガイドの活用例
伊豆半島ジオパーク	塚本春菜	伊豆半島でのジオカフェの取組みについて
三好市	殿谷梓	三好市のジオ・エコ・カルチュラルサイトの設定
霧島ジオパーク	坂之上浩幸	霧島ジオパークエリア拡大と課題
男鹿半島・大潟ジオパーク	澤田信、永野重明、藤井恵美子、 竹内弘和、澤木博之	ジオサイト保全に向けた新たな取組み
磐梯山ジオパーク	蓮岡真	華麗なる再デビュー！「磐梯山ジオパークカレー」 ～一杯のカレーがつなぐジオパーク活動～
白山手取川ジオパーク	日比野剛、富田揚子、大西龍一	白山手取川ジオパークにおけるガイド養成講座の取組み
山陰海岸ジオパーク	金山恭子、安藤和也、山下直人、 浅田欽一、岸本英夫	山陰海岸ジオパークトレイル： 私たちの街と自然、歴史をつなぐトレイル
おおいた豊後大野ジオパーク	日向千草、田吹文子、佐伯慎一、 後藤竹義	ジオガイドが担うジオツアーの役割
南アルプスジオパーク	小澤 恵理	ジオパークと公民館
土佐清水ジオパーク構想	佐藤久晃、今井悟、土佐清水認定ジオガイド	ジオガイドと専門員によるジオストーリーの構築
萩ジオパーク	伊達千絵、藤田尚子、正司かおる、 磯村亜由美、松田光一、増野和幸、 樋口尚樹、伊藤靖子、白井孝明	ふるさと萩を愛する子どもをジオパークで ～4年の歩み
とかち鹿追ジオパーク	三反崎順也	鹿追スタイルのジオパーク
八峰白神ジオパーク	山内真義	まちあるきとジオツアーの融合を通じた相互理解の深化
ゆざわジオパーク	高柳春希	ゆざわジオパークの温泉、湧水、硫気孔が形づくる生物の分布や動態について
山陰海岸ジオパーク	成田浩一、波内祐美子	山陰海岸ジオパークを取り入れた豊岡のふるさと教育
三笠ジオパーク	相場大佑、上口壮太、重松百之香、 唐沢與希	オリジナルキャラクター「あんもふれんず」と関連グッズの開発と活用
東三河ジオパーク構想	加藤千茶子、加藤貞亨	東三河地域におけるジオガイド養成への取組み
栗駒山麓ジオパーク	佐藤英和、佐藤充	「岩手宮城内陸地震10年メモリアル国際シンポジウム 地震による斜面災害の実際と克服の工夫」の開催報告
室戸ジオパーク	ミンダ・デットマン	ユネスコ世界ジオパークでの国際交流員の重要性
糸魚川ジオパーク	磯貝謙二、久保雄、渡辺久	糸魚川市駅北大火被災地のまち歩き
三笠ジオパーク、 北海道地図	下村圭、小林毅一、田中祐未、 千葉武史	ジオパークネットワークを活用したTV電話を使用した学校教育活動の取組みについて
佐渡ジオパーク	市橋弥生	地域住民といっしょにつくるジオツアー ～佐渡ジオパーク沢崎集落の事例～
下仁田ジオパーク	原秀夫、大小原敏江、岩井実、 関谷友彦、片山美雪	世界遺産を活用した地域学習への活用
おおいた姫島ジオパーク	須賀宣光、須賀猛明、堀内悠	ジオクルーズの取組み
島根半島・宍道湖中海ジオパーク	辻本彰、林広樹、大平寛人、 森江和文	島根大学における島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会と連携した授業の実践例
銚子ジオパーク	坂巻哲、藤本一雄、山内祥行、 小川正俊	未災地の銚子ジオパークにおける防災ジオツアーの開発と試行

ブース展示【第2体育館】

ブース展示には23団体の申し込みがあり、各ブースともバラエティー豊かな展示を行っていた。



ブース出展団体一覧

団 体 名	団 体 名	団 体 名
三好市役所	湯沢市ジオパーク推進協議会	エクスプローラーズ・ジャパン株式会社
栗駒山麓ジオパーク推進協議会	兵庫県立大学	Mine秋吉台ジオパーク推進協議会
おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会	霧島ジオパーク推進連絡協議会	佐渡ジオパーク推進協議会
京都大学	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	阿蘇ジオパーク推進協議会
島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会	銚子ジオパーク推進協議会	苗場山麓ジオパーク推進協議会
北海道地図株式会社	株式会社アークノハラ	室戸ジオパーク推進協議会
浅間山ジオパーク推進協議会	株式会社クールスター	山陰海岸ジオパーク推進協議会
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会	男鹿半島・大湊ジオパーク推進協議会	

地元物産展【中央公民館前駐車場】

様似町アポイ岳ジオパークや周辺地域の特産品を集めて、物産展を開催した。

特に、6日は昼食も兼ねられるよう、そばや鹿肉ステーキなどの“屋台”も出店し、大変好評であった。





地元物産展出店事業者一覧

団 体 名	団 体 名	団 体 名
Hidakaおもてなし部会	ひだか元気グルメ研究会	エゾシカ肉を有効活用する会
まんまの会	味方商工会	日高昆布組合
広尾町観光協会	一社) 浦河観光協会	様似町観光協会
臨時郵便局	ヤマト運輸えりも・様似センター	

大交流会【様似町スポーツセンター】

様似町の大地の恵みをふんだんに使った地場料理は大変な好評を得た。会場では町民ボランティアが調理、給仕をし、参加者を心からもてなしたほか、大会名誉実行委員長でもある高橋はるみ北海道知事も駆けつけた。商工会員から提供された様似産品の抽選会で会場内が熱気に包まれるなか、ステージでは西日本豪雨で大きな被害を受けた四国西予ジオパーク推進協議会からお礼と復興への決意が述べられ、その後に次回開催地であるおおいた豊後大野ジオパークとおおいた姫島ジオパーク、大分県の関係者がPRを行った。

クライマックスは坂下実行委員長が音頭をとり、参加者が肩を組み合わせながらの大合唱。

会場が一つになり「イランカラッテ」の歌声が鳴り響くなか、お開きとなった。



北海道150年特別展【中央公民館】

今年は「北海道」と名付けられて150年という節目の年である。これを記念して、北海道の名付け親である松浦武四郎と様似の関わりを中心として、プロジェクションマッピングなどを設置し、北海道と様似の歴史を紹介した。



“さまにの石でさまにの絵をかこう” 作品展示【中央公民館】

全国大会にあわせて、様似を代表する石である“かんらん岩”をくだいて岩絵の具の材料にして、様似の風景を描くワークショップを行った。

このワークショップは、様似小学校5年生と札幌大谷大学芸術学部美術学科教職課程2年生が共同で日本画作品を制作するもので『アボイ岳と高山植物』『親子岩と夕日』の2作品を制作した。

全国大会1日目には、制作した5年生が会場に来て、感想などを説明した。



オーラルセッション【様似図書館】

全国大会初の試みとして実施。16件の発表があり、活発な質疑応答が交わされていた。

※詳細は32ページ～33ページを参照ください。

分科会【町内各会場】

今大会では、町内各会場において8分科会を開催した。

※詳細は15ページ～31ページを参照ください。

大会2日目 10月7日(日)

オーラルセッション【様似図書館】

1日目に引き続き開催した。 ※詳細は32ページ～33ページを参照ください。

分科会【町内各会場】

1日目に引き続き開催した。 ※詳細は15ページ～31ページを参照ください。

北海道150年記念講演会【中央公民館】

北海道との共催事業として、次の2本の講演を行った。荒天にも関わらず、100名以上の方に参加いただいた。

「アイヌ語から見えるアイヌの世界観～ゴールデンカムイの世界より～」 千葉大学教授 中川 裕 氏

「北海道の長い歴史～そのなかの『北海道150年』～」 北海道博物館 学芸主幹 池田 貴夫 氏



体験ワークショップ【スポーツセンター】

北海道内ジオパーク（洞爺湖有珠山、白滝、三笠、十勝岳）で親子向けの体験ワークショップを行った。

荒天であったが多くの親子連れが訪れ、楽しく“ジオ”を学べる内容に、歓声が上がっていた。



北海道150年特別展【中央公民館】

中高生ポスターセッション・一般ポスターセッション【第2体育館】

ブース展示【第2体育館】

地元物産展【様似町役場 1 階ロビー】

なお、7日は、台風接近のため様似町役場 1 階ロビーで販売を行った。



パネルディスカッション【中央公民館】

テーマ 「これまでの10年から明日のジオパークを考える」

コーディネーター 目代 邦康 氏（日本ジオサービス㈱代表取締役）

栗原 憲一 氏（北海道博物館 学芸主査）

パネリスト 渡辺 真人 氏（産業技術総合研究所地質情報研究部門）

沼倉 誠 氏（湯沢市産業振興部長）

下村 圭 氏（三笠ジオパーク推進協議会事務局次長）

白井 孝明 氏（萩ジオパーク構想推進協議会専門員）

小林 弥生 氏（アポイ岳ジオパーク認定ガイド）

黒井 理恵 氏（㈱DKdo北海道事務所取締役）



閉会にあたってのお礼【中央公民館】

様似中学校 3 年 附田 颯汰さん 金子 里桜さん

